



# 只見町ブナセンターだより

---

只見町ブナセンターは、新年度となりスタッフが少し変わりました。これからもスタッフ一丸となって、ブナセンターを盛り上げていきたいと思っています。応援をよろしくお願いします！さて、これから夏にかけて行われる行事をご案内します。

## 【ブナセンター講座】

### 奥会津の地質にみる日本列島の成り立ち

講 師 山元 孝広 氏 (産業技術総合研究所・活断層火山研究部門)

日 時 2015年6月20日(土) 午後1時30分～午後3時

場 所 只見町ブナセンター セミナー室 ※講座の聴講には入館料が必要です。

## 【自然観察会】※事前申し込みが必要です

### 只見の地質を観察しよう！

講 師 山元 孝広 氏 (産業技術総合研究所・活断層火山研究部門)

日 時 2015年6月21日(日) 午前9時～午後1時

場 所 叶津、塩ノ岐か黒谷など (午前9時 只見町ブナセンター集合)

参加費 1000円 (保険料含む)

持ち物 軽食、飲み物、雨具、長靴

## 【猪又かじ子写真教室】※事前申し込みが必要です

### ヤマユリの咲く布沢を撮る！

講 師 猪又かじ子 氏 (写真家)

日 時 2015年7月25日(土) 午前9時30分～午後2時

場 所 布沢集落 (午前9時 森林の分校ふざわ集合)

参加費 1000円 (保険料含む)

持ち物 カメラ、昼食、飲み物、雨具、長靴、虫よけ

申込・お問い合わせ 只見町ブナセンター 0241-72-8355

## 【次回企画展】

# 只見町のブナの森 2015年7月～9月

只見町の木、ブナ。最も親しみのある木ブナはどんな特徴を持っているのでしょうか？また、只見町にはどのようなブナの森が広がるのでしょうか？ブナの森をパネルと写真、標本で紹介します。

## 【活動報告】春の自然観察会

### 2015年5月2日(土)「春植物を愛でる！」



5月2日の暖かく良く晴れた天気の中、黒谷川にて春植物の観察会を行いました。今年は雪が多かったためか雪解けが遅く、林道にも雪が残っており足元が悪く滑りやすい状況でしたが、町内外から23名の方々に参加していただきました。

今年は雪解けが遅いためか去年よりも多くの場所でフクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲの花が見られました。また、春の花以外にも、若葉の芽生えたユビソヤナギや只見町の特徴的な地形である雪食地形を観察しました。

### 2015年5月3日(日)「春のブナ林を歩く！」



ブナ林の観察会には52名の方にご参加いただき、5つの班に分かれて案内する形となりました。残雪は多いものの、ブナはすでに開葉していました。雪を踏みしめながら、遠くまで見通すことのできる開放的な新緑の木立の中を歩きました。足元の雪のせいか、最高気温26℃の夏日にもかかわらず、林内はひんやりとしていました。今年は、鈴なりの雄花をつけているブナがあったのが印象的でした。他に、雪の下から顔を出した青々としたエゾユズリハやヒメアオキなどが見られ、多雪に適応した植物の姿を目にすることが出来ました。折り返し地点では恒例のオオイワウチワが咲きそろい、交流広場には国界の大ブナが朽ちた姿で横たわっていました。春の只見町を満喫する自然観察会となりました。

## 【連載：世界の BR (Biosphere Reserves: 生物圏保存地域) No. 4】

ユネスコエコパークというのは日本国内の呼び名で、国際的には生物圏保存地域 (Biosphere Reserve: BR) といいます。現在、119 カ国に 631 の BR があります。ここでは、海外の BR をシリーズで紹介します。2014 年 6 月に只見町や南アルプスと同時に海外では 11 の地域が BR に登録されました。前回に引き続きそのうち 1 つの BR を紹介します。

### Ak-Zhayik (カザフスタン アク・ジャイク)



カザフスタンのアティラウ州のウラル川の三角州とカスピ海の海岸に沿った地域の湿地帯で、面積が 39.6 万 ha におよぶ BR です。この地域はユーラシアからアフリカ東部へ渡りをする鳥にとって重要な経路に位置し、渡り鳥が 240 種も集まります。このうち 110 種が水鳥で、その中の 70 種がここを営巣地とします。その他にも、希少なニシハイロペリカンが 600 ペア以上、ここで営巣して

コロニーを作っています。これは、世界中のニシハイロペリカンの 12% を占めます。1 万 7000 人が暮らし、漁業や牧畜、狩猟をしています。

\*この記事は以下のユネスコのホームページに基づいています。このホームページから各 BR の写真を見ることができます。もちろん、只見も載っています！

<http://www.unesco.org/new/en/media-services/multimedia/photos/mab-2014/>

## 【スタッフ紹介】只見町ブナセンターの新しいスタッフを紹介します！

### 根本 唯<sup>ゆい</sup> (学術調査専門員)

はじめまして。今年の 4 月より学術調査専門員として只見町ブナセンターで働いています根本唯です。私はこれまで大学などで野生動物、特にクマの研究をしてきました。只見町はツキノワグマが多く生息すると聞いています。山や森林を見た感じもツキノワグマにとって豊かな生息地が広がっていることから、今後、どんなクマが見られるか楽しみです。まだ、慣れないところもあり、色々とお世話になるかと思いますがよろしくお願いします。

## 【組織】只見町ブナセンターの 2015 年度の組織をお知らせします

センター長・鈴木和次郎／館長・河原崎里子／指導員・遠藤菜緒子 (学芸専門員)／自然首都・学術調査専門員・根本 唯／只見町役場総合政策課兼務 事務局長・渡部勇夫、地域振興係・新国万寿美、中野陽介、渡部はるか／\*名誉館長・河野昭一\*

## 【只見町ブナセンター 2015 年度の行事予定】

開催時期	行事名	備考
開催中～ 6月7日(日)	【企画展】 季節とともに生きる 只見野鳥とその生態	身近な野鳥が見せる只見町の風景をパネルや写真、剥製などで紹介します。
6月20日(土)	【ブナセンター講座】 奥会津の地質にみる日本列島の成り立ち	講師：山元孝広 氏（産業技術総合研究所） 地質学・火山学の専門家、山元氏に只見の地面の成立を教えてください。
6月21日(日)	【自然観察会】 地質の地質を観察しよう！	講師：山元孝広 氏（産業技術総合研究所） 観察地：塩ノ岐か黒谷を予定
7月～9月	【企画展】 只見町のブナの森	只見町のブナ林の分布や成立の経緯とともに、ブナの生態について紹介します。
7月25日(土)	【写真教室】 ヤマユリの咲く布沢を撮る！	講師：猪又かし子 氏（写真家） 撮影地：布沢集落
8月1日(土)	【ブナセンター講座】 気候変動によって雪国の森はどのように変わってゆくの？	講師：中静 透 氏（東北大学）
8月2日(日)	【自然観察会】 夏のブナ林を歩く！	観察地：只見沢
10月25日(日)	【ブナセンター講座】 ニセアカシアの生態と管理	講師：崎尾 均 氏 現地研修も含め、外来種ニセアカシアの脅威をお話頂きます。
10月～11月	【企画展】 昔の写真からみた只見町	町の皆様にお借りした写真が、ありし日の只見町を語ります。
秋季	【自然観察会】 秋のブナ林を歩く！	観察地：未定
12月～ 2016年2月	【企画展】 只見町の生物多様性を考える	よく耳にする「生物多様性」とは何でしょうか？なぜ重要なのでしょうか？
12月19日(土)	【ブナセンター講座】 自然の恵みの活かし方—今までもユネスコエコパーク登録後も—	講師：松田裕之 氏（横浜国立大学）
2016年3月～5月	【企画展】 春植物の生活史	雪が解け一斉に春植物が咲き始めるのが只見町の魅力です。春植物の生態に迫ります。
3月13日(日)	【ブナセンター講座】 葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全	講師：鷲谷いづみ 氏（中央大学）
冬季	【自然観察会】 冬のブナ林を歩く！	観察地：未定

【編集後記】大雪だった冬を越え、只見町は目覚ましく季節が移り変わっています。今年度はどんな一年になるのでしょうか。楽しい1年になりますように！

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター

開館時間：午前9時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）

入館料：高校生以上 300円 小中学生 200円 未就学児無料（20人以上は団体割引）

電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 電子メール [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp)